

インポートのパラメータとその指定方法

欠点：実行スピードが遅い

注意：サーバーで、直接実行すること

■ データ・インポート・ユーティリティでのパラメータ指定

(1) コマンドラインでの直接指定方法

```
imp      system/password      FROMUSER=SCOTT      TOUSER=SCOTT2
      FILE=full.dmp
```

(2) パラメータ用ファイルの使用

```
imp      system/password      PARFILE=scott.txt
                                     ↓      scott.txt テキストファイル
      FULL=y
      FILE=full.dmp
      CONSISTENT=y
      DIRECT=y
      GRANTS=y
```

■ パラメータの種類

パラメータ	説明	デフォルト値
BUFFER	行フェッチに使用されるバッファサイズ (バイト単位)	OS によって異なる
COMMIT	レコードを挿入するたびにコミットするか	n
COMPILE	パッケージ、プロシージャ、ファンクションをインポート時にコンパイルするか	y
CONSTRAINTS	制約のインポート	y
DATAFILES	TRANSPORT_TABLESPACE が y の時に、データベースに転送するファイル名	なし
DESTORY	既存のデータ・ファイルの再利用	n
FILE	インポート用ファイルの名前指定	expdat.dmp
FROMUSER	インポートするスキーマをカンマで区切ったリスト	なし
FULL	インポートするダンプ・ファイルの全体をインポート	y
GRANTS	オブジェクト権限をインポート	y
IGNORE	オブジェクト作成エラーの時の処理方法	n
INDEXES	索引のインポート	y
INDEXFILE	索引作成文を受取るファイル名を指定	なし
LOG	ログへの出力	なし

PARFILE	インポート用パラメータ・ファイルの名前	なし
ROWS	表のレコードのインポート	y
SHOW	インポートするダンプ・ファイルの内容表示	n
TABLES	インポート時の表名、パーティション名をリスト表記で指示	なし
TABLESPACES	インポートする表領域名	なし
TOUSER	インポートするオブジェクトを、指定のスキーマ先に変更する場合の変更先ユーザー名のリスト	なし
TRANSPORT_TABLESPACE	表領域のメタデータをエクスポートする	n
USERID	インポートするユーザー名／パスワード	なし